



中央聖書神学校 Central Bible College CBC 後援会だより

広報誌発行について

中央聖書神学校後援会



会長 峰田 将

このたび、中央聖書神学校の後援会が新しいスタートを切りました。

実は既に37年余に及ぶ長い歴史を持つ後援会ですが、昨年初めて信徒の会長が選出され、その会長を中心に信徒主体の役員構成が行われ、この2月に総会を開いてようやく体制が整えられたところです。

教団や神学校の行政に全く不案内な私ですが、このたびの御指名を神の命と受けて敢えてこの身に余る大役を引き受けさせていただきました。幸い、志を同じくする方々おられましたので、役員としてご協力いただきながら一緒に歩みを始めたところです。私はかねてからこの日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団や中央聖書神学校の発展には、各教会に連なる一万数千人の信徒の責任が極めて重いと考えておりました。

私たちが教団や教職の先生に期待するだけでなく、私たち自身が教団・神学校のために何を為すべきかを考えなければならぬと思ってきました。

いろいろなタラントをお持ちの方々がたくさん居られることと思います。財を捧げてくださる方、陰でお執り成しのお祈りを続けてくださる方、そして日常の働きの中で培われたさまざまな能力を活用してくださる方々、それが結集した時に御栄光を拝することができると思います。

かのケネディ大統領の有名な就任演説の結びの言葉「国があなたのために何をしてくれるかではなく、あなたが国のために何ができるかを考えようではありませんか」が重く響いてきます。まだ手探り状態の後援会ですが、皆様方のお力をお借りしながら、まず神学校のために我々ができることを探っていきたいと願っております。

この『後援会だより』は、私たちの動きを極力仔細にご報告させていただくとともに、皆様方のご意見を聞かせていただく窓口になればとの願いから発行させていただくものです。ぜひ皆様の後援会に加わっていただきたく、心からお願ひ申し上げます。

『主の用なり』

爽やかな五月の風が吹くと学生時代のことを思い出します。

それは世界史の先生が退官すること、最後の授業となりました。普段の授業は、一〇名程度の学生でしたが、その日は立錐の余地もありませんでした。授業の題名は、日本と中国は、「なぜ江戸時代に、世界の潮流から後れを取ったか」という趣旨でした。自国の安全のために、日本は鎖国を、中国は万里の長城という壁を築いて、海外の人や文化の交流を制限してしまっただ、ということでした。

後援会活動では、いろいろな教会の人や考え方の人たちが集まり、活動が活発になるよう祈り、自由闊達な意見交換が行われ、奉仕させていただいています。自分という自己防衛や出身教会等の壁や障害物を取り払って、主にある意見交換となっています。それは、予期しない素晴らしい結果となつて、いつも委員会に参加することが楽しみであり、喜びとなっています。

今日も、五月の風はあらゆるところから吹いてきて、壁や障害物を超えて、思いのままに吹いています。



校長 北野耕一



主の貴い御名を崇めます。

昨年はカール・ジュールゲンセン宣教師ご一家が日本宣教を始められて一〇〇年、今年は米国アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団が誕生して一〇〇年という節目を迎えました。

一方、日本アッセンブリー教団創立総会が開かれ、重要課題の一つである神学校の創設が採択されたのが一九四九年三月でした。わずか七ヶ月の間に、駒込の現在地が主の奇跡の御手によって与えられ、校舎・学生寮が竣工し、翌年中央聖書学校が開校しました。

二〇一四年度の入学生は本科七名、通信科三名、教会献身者課程三名です。しかし教団の未来を考えますと、もっと多くの献身者を必要と致します。と同時に神学教育に専念出来る教師の研鑽も欠かせません。

そのための財政基盤の拡充は必須です。

CBC後援会がその一端を担うべく、新体制を整え、多くの犠牲を払って活動を始められました。役員、委員の方々の中央聖書神学校に対する熱い思いに心より感謝申し上げます。

願いに応えられ後援会会員が倍加致しますよう祈ります。

通常総会を開催

二〇一四年二月一日、中央聖書神学校チャペルを会場に、後援会の総会を開催いたしました。

会場出席二三名、委任状出席五一名。総会では、新体制での発足に至る経緯の説明と二〇一三年度の活動の報告、二〇一四年の新体制の下で進める事業と予算について審議決定した。なお、後援会員の皆様には、会費の用途を決算書で報告し、予算書では、会員の増加を願っているという読み取りを添えていたが、願っています。



決算書では、後援会の会費を神学校のために捧げていることをご確認ください。

予算書では、二〇一四年度の会費収入を注目してください。神学校への献金を二〇〇万円とするため、広く会員になっていただけの方を募集しています。どうぞ、会員になって神学校の支援をしてください。主の御用のために、献身を。さもなくては献金を！と訴えます。

交流茶話会では、後援会に対する期待の声が聴けました。夢は膨らみます。

2014年度中央聖書神学校後援会 予算案

収入		支出	
会費 法人 40	1,200,000	CBCへ献金	2,000,000
会費 個人 150名	1,000,000	後援会だより 発行費(年2回)	100,000
Tシャツ売上(前年在庫分)	188,000	聖会への参加(年5回)	100,000
CD売上(前年在庫分)	12,000	CBCサンデーの実施	100,000
		記念品代(卒業生)	25,000
		事務通信費	50,000
		委員会費(作業)	30,000
		払込手数料	10,000
小計	2,400,000	小計	2,415,000
前年度繰越金	509,429	予備費	494,429
合計	2,909,429	合計	2,909,429

2013年度中央聖書神学校後援会 会計報告

2013.12.31

収入		支出	
会費 法人 29	812,500	CBCへ献金	1,400,000
会費 個人114名	700,000	記念品代(卒業生)	26,720
献金	1,000	入会案内	36,750
Tシャツ売上	257,040	委員会費(作業)	31,154
CD売上	169,000	事務通信費	7,507
		払込手数料	9,650
		Tシャツ作製代	250,000
		CD作成代	200,000
		Tシャツ、CD送料	10,640
		総会茶菓代(同窓会と折半)	7,000
小計	1,939,540	小計	1,979,421
前年度繰越金	549,310	次年度繰越金	509,429
合計	2,488,850	合計	2,488,850



新体制で再発足

役員挨拶

会長 峰田 将 (神召教会)

一面で挨拶申し上げました。

副会長 松田 正

(小岩栄光キリスト教会)



企業や官公

庁等のセミ

ナー講師をし

ています。教

育熱心な企業は栄えています。主の業も教団の働きは、神学校が立派な人材を輩出するとき繁栄します。後援会の働きに奉仕させて頂きます。

書記 酒井源次

(十条キリスト教会)



色男なので

(笑)、金も力

もありませ

ん。しかし、

やる気と時間はたっぷりあります。精一杯ご奉仕します。何なりとご用命ください。

会計 佐々木功

(めぐみ福音キリスト教会)



今回、後援

会会計の大切

を仰せつかり

ました。感謝

いたします。微力ながら、この後援

会の組織を通して少しでも神学校の

お役に立てればと願ひ、祈り、献げ

て行きたいと思っております。

監事 佐藤 清 (篠原教会)



私はこの度

の神学校後援

会が信徒に託

された経緯に

は、関東C Aが結集した50年前の

熱い思いが働いたのではないかと思

います。そして主に仕えて行きたい

と願っております。

監事 岩本章子 (武蔵野教会)



五〇年以上

前に与えられ

た献身の思い

が、いま、こ

のような形でCBCと関わることで

トンを繋げられるよう新たな献身の思

いで努力いたします。

委員

齋藤貞治 (エバグリーンチャペル)

荻原恒雄 (中央聖書教会)

三箇孝政 (神召キリスト教会)

酒井 勝 (神召キリスト教会)

野村行雄 (めぐみ福音キリスト教会)

聖会で会員募集のアピールをさせていただきます。

後援会再発足の初仕事として、二〇一三年一〇月の関東東西教会聖会の会場で、松田副会長、岩本監事が案内パンフレットと振込用紙を配布し、後援会入会促進のアピールをいたしました。また、二〇一四年四月二九日の聖会でも後援会がアピールをいたしました。

【関東北東教区】

佐々木会計・酒井書記・野村委員

【関東南西教区】 佐藤清監事

【関東南西教区西地区東京ブロック】 岩本章子監事

【東海教区】 松田正副会長

CBCサンデー

“神学校の働きに合わせて、教会の礼拝後に後援会会員を勧誘”

中央聖書教会

『主の山に備えあり』

(創世記二二―一四)

昨年(二〇一三年)六月二三日礼拝でCBCサンデーが実施されました。説教は中央聖書神学校校長北野耕一先生。

今から六十年余前、マッカーサーの専任牧師を、不思議な神の御手の介入により動かされ約一七〇〇坪に及ぶ広大な駒込山の地が与えられたのです。師ご自身が激しい聖霊の力に押し出され、神戸大学を中退し、主は雲の柱を以て神学校の門を開かれました。当時弓山校長の許可を得て、学生伝道の為に中央聖書教会を立ち上げられたこと、自称学生牧師として意気軒昂で伝道に励んでおられたことが語られました。

最後に神学校とは“捨てるべきものと、持つべきもの”とを聖霊によって明確に見分ける所である。あのモリヤの山に登り切る信仰、奉げ切る信仰

が今、信徒にも神学生にも教師にも求められているのではないかと力説されました。

礼拝後に多くの兄弟姉妹が後援会加入の申し込みをしてくださいました。

(後援会委員 荻原恒雄)

神召キリスト教会

去る三月三日、神召キリスト教会でのCBCサンデー礼拝が行われました。

北野耕一中央聖書神学校校長の説教の前に、神学生の和田尚子姉、山崎銀一郎兄が献身の証しや、救われて今ある喜びを語られました。和田姉は献身の前に学んだバレーの一部を披露してくださいました。

「くびきと十字架」と題した説教では、主イエスに従う素晴らしさについて深く真理に触れられた。キリストの心を心とすることを語られ、北野師の献身と家族の救いについて証しされ、神に生涯仕える者とそれを支える者を必要としておられることを訴えられました。

礼拝後、後援会会長の峰田兄から後援会入会の奨励がなされ、その場で一二名の入会者が与えられました。

(後援会委員 三箇孝政)

二〇一四年度 会員募集

後援会の会計年度は、一月一日から二月三十一日までです。この間に会費を納入された方を会員とします。

☆教会単位で会員になってください。

個人で会員になるには負担が多いと考える場合は、教会単位で取りまとめ一口一万円まで会員になってください。(千円一〇人で、二千円五人で、...)。

☆個人で会員になってください

振込用紙に氏名(所属教会名)を明記して一口五〇〇〇円を振り込んでください。教会で取りまとめの方がいると会員になりやすい、とのこと。四国・高知県・中村福音教会では毎月五〇〇円ずつ集金してくださる姉妹がいますので、多くの兄弟姉妹が会員になっていてください。

☆法人会員になってください

法人会員になっている二社を紹介し

・医療法人社団マリヤ・クリニック様
代表は院長の柏崎良子様(千葉福音キリスト教会牧師夫人)

・ベテラフオト印刷株式会社様、代表者は社長の佐々木功様(めぐみ福音キリスト教会)

○専用の振替用紙があります。神学校事務宛請求願います。

【後援会の目的】

後援会の事業目的は、後援会規約、第二章「目的及び事業」の第3条によれば、「この会は、中央聖書神学校の教育と研究の成果を上げるために必要な物的、財的援助を行うことを目的とする。」としている。

そのために第4条では「この会は、前項の目的を達成するため次の事業を行う。」として以下の5事業を行うこととしている。

- 一、募金活動を行う。
- 二、会員獲得を推進する。
- 三、学校と会員相互の親睦と交流を図る。
- 四、奨学金の授与および貸与。
- 五、その他前条の目的達成のために必要な事業。

後援会の活動の柱は会員獲得であり、事業の目的を果たすための原資となるものは会員の納入による会費である。

会員については、第三章に規定されている。

第5条 この会員の種類は、次の通りとする。

- 一、個人会員 この会の目的に賛同し、会費年額一口 五、〇〇〇円

を納めた者

- 二、法人会員 この会の目的に賛同し、会費年額一口 一〇、〇〇〇円を納めた者

第6条 会員になろうとする者は、会費を添えて入会申込書を会長あてに提出する。

第7条 会員で退会しようとする者は、理由を付して退会届を会長あてに提出しなければならない。

第8条 既納の会費は返還しない。

その会員は二〇一三年度末においては教会会員(法人と呼称)が二九教会、教職の先生が個人的に会員となっておられる会員が四九名、信徒の会員が六五名、総勢一四三会員となっている。二〇一四年度の会員目標は教会・法人四〇団体、教職者・信徒会員一五〇人としている。

編集後記

読者の参加をいただき、より良いものにしてまいりたいと願っています。ご意見や、証し、身辺で起こっている嬉しいことなどを投稿してください。次号は一〇月三十一日付です。九月中旬までの投稿を掲載いたします。ご意見は神学校後援会宛にお送りください。